



独立行政法人国立病院機構
 岩手病院 地域医療連携室
 TEL : 0191-25-2428
 FAX : 0191-25-2429
<http://www.hosp.go.jp/~iwate/>
 地域医療連携室長 千田 圭二

地域医療構想と今後の当院の役割

世界の気候は繋がっている。

——宮内悠介：あとは野となれ大和撫子
 角川文庫 2017, 57%

世界を常に意識させるわけではありませんが、天気予報は東アジア・西太平洋の気候の中に日本が在ることを実感させます。もちろん、当地、一関・両磐地域も境目のない気候に覆われています。雨雲レーダーをみてみますと、西あるいは西北西から流れてくる雨雲が、しばしば一関を避けて北または南へと抜けて行き、傘なしで済ませてくれます。これは鳥海山から栗駒山へと連なる地殻の起伏がもたらしてくれる恩恵です。

さて、地域医療構想は、少子高齢化による医療介護需要の増大と疾病構造の変化に対応するため、既存の医療資源を活用して効率的で質の高い医療提供体制を構築しようとする政策です。現在、二次保健医療圏を単位として構想実現に向けて活動が進んでいます。地域医療構想においても、当院の主要分野（回復期リハ、神経筋難病、重症心身障害）は変わりません。当院はこの立場から構想実現のために協力していきます。

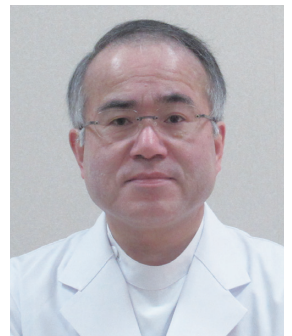
ここで構想区域について考えてみます。地域医療構想に限らず医療計画・政策の多くは県単位/二次保健医療圏単位で企画・実践されますが、現実の受療活動

は行政区域を超えて往来しており、特に当院が位置する県境地域においては顕著です。たとえば、当院の各分野における昨年の地域占有率は、両磐地区が回復期リハ80.6%、神経難病65.0%、入院の重症心身障害24.0%であり、宮城県が6.2%、26.1%、20.7%（同順）でした。すなわち、回復期リハは地域医療的性格が大きいのに対し、神経難病は県境を跨ぐように広域的、重症心身障害はさらに広域的なのです。

ちなみに、岩手・宮城の県境を跨ぐ行政活動として、4市町が定期的に会合しています。ただし主要議題は産業・観光であって難病や重症心身障害を論ずることはないようです。一方、保健所では県境5保健所で構成する合同連絡会が定期開催されますが、企画・立案は行われなそう。

気候と同様、医療は行政区域を超えて繋がっています。特に県境においては、より広域的な地域医療を構想すべきだろうと考えるのです。

病院長 千田 圭二



第13回 NHO岩手病院 公開セミナー開催

平成30年12月11日火曜日に岩手病院公開セミナーを開催しました。「パーキンソン病の精神症状とその対応」と題し、当院脳神経内科医長の千田光一先生が講演しました。

今回は、神経難病で最も多いパーキンソン病の経過中に現れる精神症状とその治療についてのお話でした。当日は、ケアマネジャーや介護福祉士等、院内スタッフと合せ約30名にご参加いただきました。終了後のアンケートでは、パーキンソン病のリハビリや予後、実際の看護についても詳しく知りたいなどのご意見をいただきました。

関係機関の皆様が知りたい情報などを踏まえ、今後もセミナーを充実した内容にしていけるようにしていきたいと思っておりますので、ご参加をお待ちしております。

医療社会事業専門員 板橋 彩子



歩行リハビリテーション研究会に参加して HONDA歩行アシスト導入決定！

平成30年10月27日木曜日仙台市にて、HONDA歩行アシストを用いた歩行リハビリテーション研究会～東日本情報交換会～が開催され、佐藤智彦名誉院長、佐藤洋理学療法士長と参加してきました。研究会では、HONDA歩行アシストの概要や、装着体験、各施設の導入後の成果、研究発表などが行われました。

HONDA歩行アシストは、その名の通り歩行をサポートする歩行訓練機器です。対象は広範囲で脳卒中、パーキンソン病、大腿骨骨折術後などとされています。装着方法は本体の腰フレームと大腿フレームを対象者にベルトを巻いて固定するだけです。ベルトは3か所のみ固定するだけで装着完了となり、とても簡単でした。私も実際に装着して、歩行をサポートしてもらいました。装着した感想は機器本体の重さを感じることがなく、また私の歩行に合わせて的確にサポートしてくれたためにとっても歩きやすい印象を受けました。

本器には①追従モード、②対称モード、③ステップモードの3モードが搭載されています。追従モードは装着者の歩行に合わせてサポートし、対称モードは装着者の歩行時の両方の足が左右対称に振り出すことができるようにサポートし、③ステップモードは足の振

り出しや蹴り出し、重心の移動をサポートしてくれます。これらに加えて、付属のタブレットに歩行時の足の上がった角度・タイミング・左右差や、歩く速さなどがリアルタイムに反映されます。そのためリアルタイムに得た情報をもとに、より効率の良い歩行練習が可能になるのではないかと期待しています。

当院への導入は平成31年3月に決定しております。HONDA歩行アシストを使用し、少しでも患者様へ寄与できればと考えています。

理学療法士 黒沢 健



NHO岩手病院 イルミネーション

岩手病院は新病棟に移転してから3回目の冬を迎え、今年も新病棟前の並木と新病棟内の療育訓練室の院内外2箇所に鮮やかなイルミネーションを飾りました。

普段とは違うドラマチックな空間は、患者さんや来院される方に癒しを与えてくれますね。

業務班長 佐藤 友紀

